

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道 I | 開講学期 | 通年 | 単位数 | 2 | 試験 | 前期・後期 | | |
|-----------|-----------------|-------|------|------------|----|------------|----|----|-------|--|--|
| タイプ | II | リポート数 | 6 | スクーリング必要時数 | 8 | スクーリング実施時数 | 14 | | | | |
| 教科書(発行者) | 書道 I (東京書籍) | | | | | | | | | | |
| 補助教材(発行者) | 書道 I 学習書(NHK出版) | | | | | | | | | | |

| | | | |
|-------|--|-------------|----------------|
| 科目的目標 | 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 | | |
| | 1 知識及び技能 | 2 思考、判断、表現等 | 3 学びに向かう力、人間性等 |

| | | | |
|---------------------|---|---|--|
| 評価の観点 及び その趣旨 | 1 知識・技能 | 2 思考・判断・表現 | 3 主体的に学習に取り組む態度 |
| | 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 | 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようとする。 | 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 |

| | |
|-------|---|
| 単位認定 | 全リポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。 |
| 評価の方法 | 評価はリポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。 |

| 学期 | リポート | 学習内容 | スクーリング | 試験 |
|----|------|-----------------|------------|----|
| 前期 | 第1回 | 芸術としての書 九成宮醴泉銘 | 第1・2回 | 前期 |
| | 第2回 | 孔子廟堂碑 | 第3・4回 | |
| | 第3回 | 雁塔聖教序 楷書のまとめ | 第5・6・7回 | |
| 後期 | 第4回 | 蘭亭序 生活の中の書(1) | 第8・9回 | 後期 |
| | 第5回 | 曹全碑 生活の中の書(2) | 第10・11回 | |
| | 第6回 | 仮名(単体・連綿・散らし書き) | 第12・13・14回 | |